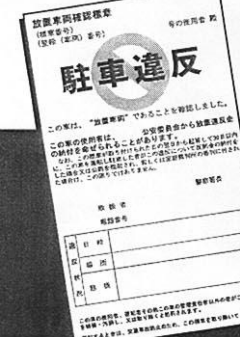


“みつけたら即、取締り”の 超悪法・放置違反金制度が 2006年6月に施行…… でも7500万 ドライバーたちよ、 あきらめるな!



違法駐車車両をデジタルカメラで撮影したら、発見時刻・場所ナンバーなどのデータを機械に打ち込み、ステッカーを作成。クルマに貼りにつけた状態でさらに1枚撮影。これで取締り完了。発見→即取締りだから3分もあれば終了か?

悪の駐禁 最後の裏



となると、取締りに対するドライバーの不満が高まってくる。当然、「こんな取締りは納得いかない」というケースも増加するはずだ。しかし、そんな「不満増加」を見越した対策としてにとられている。それが「放置違反金制度」である。

現在、駐車違反取締り時には違反者の特定が事実上できない(現場にいないことが多い)。そこで黄色いワッパを取りつけて、出頭してきたドライバーを違反者と推定して取締るスタイルをとっている。しかし、この方法だと、違反者が出頭しない、あるいは警察がクルマのオーナーに「運転していた人を出頭させてください」と要請しても「運転してはいないから」と断る、といったことが多発している。そこで、新しく導入される「放置違反金制度」では「出頭する正当事者がバカを見る。現状を改善しよう」という考えが、反則金の納付がない場合、反則金の納付がない場合は、車検申請上、使用者に対して「放置違反金(反則金)」を課してしまおうというのだ。

そして、使用者が違反金の支払いを拒否したら、悪意のある差し押さえや車検申請、違反金未納が原因の車検の拒否が行なわれる。つまり、支払い拒否は強制で罰則となるわけだ。要するに、「放置違反金制度」とは、ワッパを貼られた後、



来年6月以降、駐禁取締り民営化と「放置違反金制度」の導入で、 一日1万件の捕まえる…… 違法車両が捕まえる……

来年6月以降、駐禁取締り件数は倍増！一日1万件の捕まえる……違法車両が捕まえる……

いよいよ来年(06年)6月に「駐車監視員制度」と「放置違反金制度」がスタートする。前者は、駐車違反の現状。告知を民間取締りに委託する制度。ただし、民間とはいえ、実態は警察と密接な関係のある企業であり、監視員も警察OBが予想される。「官から民へ」のかけ再びむなしく、要は「天下り利権の拡大」だったというわけだ。これによって、「今と同じ取締りでは良好な駐車秩序が確立されませんので、2倍程度の駐車違反取締りを行いたい」と(警察庁交通局長の答弁/2004年4月8日・参議院内閣委)。

現状172万6000件(2002年)の2倍という、年間約340万! すなわち、連日連夜、来る日も来る日も日当たり1万1千の駐車違反を全国で実施すると言っているのだ。

そして、そのためには、「違法駐車発見、即取締り」の導入だ。現状では、違法駐車車両のタイヤにチョークを印し、一定時間経過後にワッパを取りつけるが、これを駐車車両を見つけた際、その場でステッカーを貼りつける方法に切り替えるのである。



「駐車取締り件数倍増により、反則金・違反金で収入増を狙う警察庁長官(違法駐車監視員長官)。だが、制度が変わるうらやまも不当取締りに納得いかない国民の怒りは変わらないのだ。見てよ〜(笑)」

とれたての青いワッパを貼るのには、ドライバーも同じだが、違うのは「一旦、略式処分(略式罰金)を受け、有罪の略式命令(反則金)の罰金刑を受け、罰金刑を納付しない限り、起訴される」という点だ。このように、違反金の対象から除外される。しかし、ここで略式命令のとおりに罰金を支払えばいい(それでは、ここまで争った意味がない)。そして、次にやるべきは、「略式命令を受けた者(被検官)は、正式裁判の請求をすることができ、(刑事訴訟法第305条)」。正式裁判の請求をするのだ。略式命令を受けた者は正式裁判を請求でき、また、この場合、正式裁判を請求する際には、罰金を支払う必要がある。こうして、争いとなる。争いとなるわけだが、となるとどう放置違反金制度の大きな矛盾が露呈する。

「放置違反金」は、交通取締り問題で詳しい高山俊彦弁護士だ。

「放置違反金」は、交通取締り問題で詳しい高山俊彦弁護士だ。

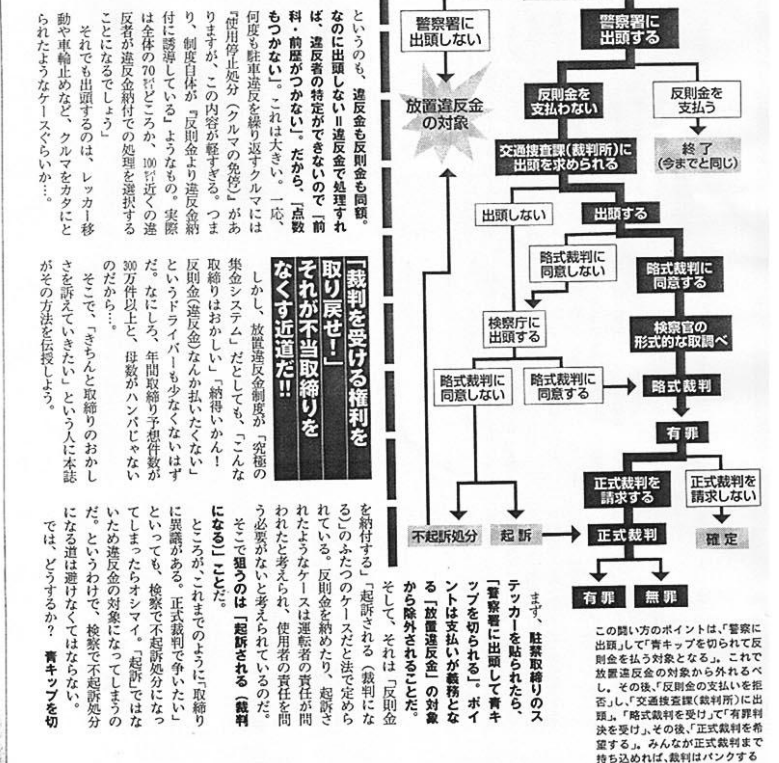
「放置違反金」は、交通取締り問題で詳しい高山俊彦弁護士だ。

「放置違反金」は、交通取締り問題で詳しい高山俊彦弁護士だ。

「放置違反金」は、交通取締り問題で詳しい高山俊彦弁護士だ。

「放置違反金」は、交通取締り問題で詳しい高山俊彦弁護士だ。

これが駐禁民営化でも 不当取締りに 勝つ方法だ!



この間、このポイントでは、「警察に出頭して青キップを切られて反則金を支払う対象となる。これでは放置違反金の対象から外れるべし。その後、「反則金の支払いを拒否し、「交通捜査課(裁判所)」に出頭し、「略式裁判」を受け、「有罪判決」を受け、その後、「正式裁判」を希望する。みんなが正式裁判まで持ち込めれば、裁判はバンクする